



VOICE

読者のページ

2024年7月号(52巻7号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

臨床に活かす！ 婦人科エコー

- 婦人科エコーの成書は経腔エコーを扱う医師向けが多く、なかなか経腹エコーの画像を扱う本を見かけません。本特集は子宮画像を見る際のポイントがわかりやすく、大変参考になりました。今後のバイブルにしたいと思います。 **ぺこら (三重県)**
- 子宮がん検診受診の際に、医師が検査やエコーを行う背景を理解できました。疾患の画像も大変興味深く、わかりやすかったです！！ **うり坊 (大阪府)**
- 婦人科エコーには苦手意識があり、日々難しいなと思っていました。今回、疾患がいろいろ載っていて、とても参考になりました。 **ばいせん (埼玉県)**

基礎講座

臨床検査技師として知っておきたい TDMの基礎知識

- 当科でも血中薬物濃度検査を行っており、薬剤師目線の内容がととてもためになりました。 **AY (北海道)**
- 当院でも種々のTDM対象医薬品を使っています。TDMについては、測定値の報告をするのみでしたが、今回の記事を読み、医師、薬剤師と結果を共有していくことの重要性を認識しました。 **HH (兵庫県)**
- トラフ値に関する問い合わせに、どう答えてよいものか困ったことがあります。今回の記事が役に立ちそうです。ありがとうございます。 **AK (兵庫県)**
- TDMが必要な薬剤の種類、結果の解釈や採血のタイミングなど、あらためて整理できました。 **ST (兵庫県)**

基礎講座

血尿をきたす疾患と尿沈渣検査

- 当院は赤血球形態情報を臨床に返していません。数をカウントするだけですが、今後のために鑑別できる目を養っていきたいと考えます。 **ミヤビン (山口県)**
- 記事を読んで、出血性膀胱炎でのアデノウイルス感染細胞など、異型細胞との鑑別には特に気をつけていきたいと思いました。 **MT (滋賀県)**
- 血尿検体には日常的に遭遇します。p.735の「表2 赤色尿における尿沈渣所見と、推定されるおもな病態」は、必要な情報がまとまっていて大変わかりやすいです。今後は、赤血球形態の報告を今よりさらに充実したものにしていききたいと思います。 **HH (兵庫県)**

解説 診療報酬改定

令和6年度診療報酬改定の要点 —検体検査にかかわる改定を中心に

- 今回の診療報酬改定には物価高騰や働き方改革など、社会的背景の影響もあるとわかりました。 **AK (兵庫県)**
- 検査に必要な物品は軒並み値上がりしているのに、点数を下げられるのが非常に苦しいです。新型コロナ関連検査や生化学関連は減点が多く、微生物関連は過去の点数に戻っただけの増点で、やるせないです。まずは物品の節約から始めます。 **さんきち (山口県)**
- 今回の診療報酬改定では、生活習慣病が特定疾患管理料加算から外れたことが大きく取り上げられています。臨床検査全体に大きく影響していることがわかり、勉強になりました。 **HY (福岡県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

